

最小クラスビデオカメラ「GumCam」・取扱説明書 HD-2000K 2013 年モデル



製品スペック	
型番	HD-2000K (GumCam)
解像度	動画：1280×960px 約 30FPS 静止画：1600×1200px
サイズ / 重量	約 72×20×12mm / 約 18g
電源	リチウムイオンバッテリー
保存媒体	SD カード 32GB まで対応
充電時間	約 2～3 時間 (電源オフ時)
稼動目安時間	連続録画時：最大約 120 分 平均 50 ～ 90 分 ※ご使用環境や設定により変わります。
セット内容	本体・USB ケーブル
保証期間	ご購入より3ヶ月(初期不良 1 週間)

【使用上のご注意】 ※ ご使用前に必ずお読みください

- ・本製品は精密機械です。取り扱いにご注意ください。
- ・長時間ご使用頂くと熱を持ち高温に感じる場合がございますが、本体の不良や故障ではなく小型カメラの仕様になります。

◎本体性能についてのご注意

本製品は本体小型化のために内部処理装置の性能を抑えており、高解像度の画像処理を行うぎりぎりの性能となっています。そのため、通常のハイビジョンビデオカメラと比べると画質が落ちます。被写体により水平方向にノイズが映ったり、一瞬止まる場合があります。以上ご理解の上、ご使用頂けますようお願いいたします。

◎ボタン操作についてのご注意

本製品は、小型軽量化のために精密な部品でデリケートに作られています。強い力で操作を行わないでください。また、内部処理に時間がかかる場合がありますので、連続したボタン操作は必ず数秒の間隔を空けて行ってください。内部処理が終わらないうちに連続して操作を行うと、本体フリーズなどが起こる場合があります。

◎特に注意すべき点

マイク感度は高めに設定されているため、音割れ等の現象が発生する場合があります。

◎省電力モード

待機状態で録画/停止ボタンを3秒以上長押しすると、省電力状態になります。しばらくすると電源が切れます。省電力状態で録画/停止ボタンを2秒以上押しとランプが点灯し、待機状態に戻ります。

【充電】

本体と PC との USB ケーブルの接続または別売りの USBAC アダプターの接続で行われます。充電が開始されるとランプが点灯します。(LED ランプ左側：点滅 真ん中：無灯 右側：点灯) 約 2～3 時間で満充電になります。PC 接続での充電時 (特にノートパソコン使用時) はより充電時間がかかる場合があります。

【ご使用前の準備】

■ microSD カードの準備

本体に microSD カードを挿入してください。本体への映像保存はできません。(カードは使用前にフォーマットを推奨します) microSD カード無しで電源を入れると、ランプが連続で点滅した後電源が自動的にオフになります。

【基本操作】

■ 電源オン / オフ

側面の電源スイッチをオンにして、録画/停止ボタンを約1秒ほど押しと電源ランプが点灯し、待機状態になります。起動後データを読み込むため、2秒ほど操作を受け付けません。録画操作などを行う際は2秒以上後に操作を行ってください。待機状態で電源スイッチをオフにすると電源が切れます。

【時計を合わせる】

パソコンからメモ帳を開いてください。(スタートメニュー → すべてのプログラム → アクセサリ → メモ帳)

2013-05-01 12:00:00

入力する西暦等は現在の時間を入力してください。文字・スペースは全て半角です。

作成後、ファイル名は『time』という名前でリムーバブルディスクに保存してください。時間の記録はMicroSDカードにしています。microSDカードを交換した場合、再度時間の設定が必要です。

【録画・静止画撮影操作】

■ 録画を行う

切替スイッチを「Video」にし、待機状態で録画/停止ボタンを押すと、ランプが赤色に点滅し、録画を行います。録画中はランプが赤色に点滅します。録画中にもう一度録画/停止ボタンを押すと録画を停止し待機状態になります。動画は約20分ごとに保存されます。

■ 写真撮影を行う

待機状態で切り替えスイッチを「Photo」にするとランプが点灯します。待機状態で録画/停止ボタンを短く押しと赤ランプが一度点滅し、写真撮影されます。

■ 録音を行う

待機状態で切り替えスイッチを「Photo」にするとランプが点灯します。待機状態で録画/停止ボタンを2秒ほど押しと赤ランプが点滅し、録音されます。録音中はランプが赤色に点滅します。もう一度録画/停止ボタンを押すと録音を停止します。

【PC でデータを読み込む】

本体の電源をオフにした状態で付属の USB ケーブルを USB 接続口に取り付け、PC 接続します。

自動でデータを読み取ります。読み取りの祭、認識に時間がかかる場合があります。取り外しの際には「ハードウェアの安全な取り外し」を行なってください。行わずに取り外しを行いますと、本体フリーズや故障の原因になります。